

「グローバル・エネルギー賞」授賞式における安倍総理祝辞

尊敬するプーチン大統領、ご列席の皆様

吉野彰博士とウラジーミル・フォルトフ博士の「グローバル・エネルギー賞」受賞を心よりお祝い申し上げます。特に、この栄えある賞を日本人が受賞するのは2006年の吉川允二（まさじ）博士に続いての2人目の快挙であり、私も大変誇りに思います。

経済の存立基盤であるエネルギーの安定的な供給の確保、そしてその効率的な利用はいかなる国にとっても避けては通れない課題です。そのような中、日本政府は、様々な分野でのイノベーションに挑み続ける企業や研究者を支援し、我が国の経済成長の原動力の一つとしたいと考えています。同時に、エネルギー問題は、一国家のみで解決できるものではなく、世界規模での取り組みが必要となっています。

私は、4月末に日本の総理大臣として10年振りにロシアを公式訪問し、プーチン大統領と実り多い会談を行いました。私は、日露関係を最も可能性に富んだ二国間関係の一つとして重視しており、安全保障、経済、文化、人的交流等あらゆる分野で両国の協力を発展させていくことで大統領と一致しました。中でも、エネルギー分野やイノベーションに関する互恵的協力は日露関係の重要な要素として進展してきましたが、更なる大きな可能性が開けています。

今回の吉野博士の受賞は、こうしたエネルギー・科学技術分野をはじめとする日露両国の協力・交流を益々活発にする契機ともなるものです。また、「グローバル・エネルギー賞」がエネルギー分野におけるグローバルな課題に対処するために今後も重要な役割を果たすとともに、受賞されたお二人の研究がより一層進展し、人類の幸福に貢献することを願っております。

最後に、今一度、吉野博士とフォルトフ博士にお祝い申し上げますとともに、ご列席の皆様のご健勝とご成功をお祈り申し上げます。